

シルバー さんむ

第13号 平成28年 6月

公益社団法人
山武市シルバー人材センター
〒289-1523山武市松尾町五反田3012
☎0479-86-6616 Fax0479-80-8280
ホームページ http://sjc.ne.jp/sambu/
E-mail sammu@sjc.ne.jp



成東地区での不法投棄物回収活動



不法投棄パトロール専用の軽トラ



山武地区での不法投棄物回収活動



松尾・蓮沼地区での不法投棄物回収活動

～ 不法投棄パトロール ～

「不法投棄パトロール業務」は、3地区に分かれ2人1組で作業をしています。歩きながらゴミを拾い、その傍らを軽トラでゆっくりと走行、あるいは停車させ、ペットボトル、たばこの吸い殻、ティッシュなど小さなゴミまで拾っています。また、動物の死骸を見つけて処理をしたり、地域の環境を守るため、責任を持って仕事をしています。不法投棄パトロールの文字を見たら、優しい運転でお願いします。

編集後記

早いもので、四月で設立十周年を迎えました。四月二十三日には記念式典が挙行され、十年在籍会員さん、功労者の方々の表彰があり、おめでとうございました。また、ヨネスケ氏の講演も楽しかったですね。当日の様子の写真は記念誌でご覧いただいていると思いますが、掲載しきれなかった写真については、次号のシルバー「さんむ」でご紹介します。お楽しみに。

さて、このメンバーとの広報誌の発行は最後となりました。女性会員三名が加わり、女性ならではの目線からの記事でますます充実した内容になったと自負しています。また、この二年間で、独自事業「すみれサークル」「いきいきクラブ」が開始し、紙面でも大きく紹介しました。参加者の楽しくいきいきした活動の様子が伝わったかと思えます。

これからも、広報委員は、皆さんがシルバーで活躍している姿を紹介していきますので会員の皆さんも、広報シルバー「さんむ」を盛り立てて頂けるよう、原稿や写真撮影などをお願いした際には、ご協力ください。
(職員 高林千代美)

楽しかった芸能発表会

渡邊いずみ

私にも出来ることがあれば・・・と思っ
てから一年がたちました。足と腰が悪い
ので多分仕事は回ってこないだろうと思っ
ていましたが、軽い仕事をやる様になり、配分
金が入金されると、嬉しくなり意欲が湧きま
した。仕事だけをこなすのみと思っ
ていたのですが、なんと新春芸能発表会がある
と聞いて、さっそく朗読の申し込みをしま
した。

当日、会場
に行っても知
り合いはいま
せん。ドキド
キです。大正
琴の演奏から
始まり芸達者
な皆様の顔が生き生きと輝いてとてもビツク
リ、元気があるのに圧倒されました。朝早く
から軽食の用意をして下さった方々にもとて
も感謝です。楽しい時間の後は抽選会、自分
の番号を呼ばれた時は、思いつきり手を挙げ
てしまいました。おみやげも沢山頂き皆、笑
顔でした。この様な場所に出席する事により、
顔なじみができて友達の輪が広がっていくと
思います。(出演者は八頁に掲載)



壇上で朗読する
渡邊いずみさん

会員登録更新説明会及び地域班懇談会

平成二十八年度会員登録更新説明会と地域
班懇談会を二月に各地区において、開催しま
した。

この更新説明会は、次年度も会員になる方
には必ず出席をして頂きたい大切な会合で、
昨年度の広報にも紹介をしました。会員さん
同士で誘い合っつての効果もあり、今年度の出
席者は：

- 成東地区 一〇九名 山武地区 一〇一名
- 松尾地区 八一名 蓮沼地区 二九名

合計三二〇名で、更新手続き会員全体の九二
%となりました。今回は、自分の地区以外で
手続きをした方も多かつたようです。

地域班懇談会は、班に分かれて班長さん
を中心に、現在の就業の様子を含めての自己紹
介や新しく入会

した方にシルバ
ーの活動を説明
したり、和気あ
いあいと進めら
れていました。

また、班長の
交代も会員さん
同士で話し合い
が行われた班も



松尾地区更新説明会の様子

あり、みんなで協力して活動しようという意
識の現れだと感じました。
次回も早めに開催日をお知らせ致しますの
で、引き続き多くの皆さんの出席をお願いし
ます。

新規事業開拓委員会より

平成二十七年に入会された方六十五名の
入会経路を調べました：

- 折込チラシ・リーフレット・ホーム
ページを見て 三十七人
- 会員の知人 十三人
- 公共機関 五人
- 再入会 四人
- その他 六人

会員数
5月1日現在 379名
(男性 252名 女性 127名)

ご覧のとおり、新聞折り込みチラシや福祉
まつり等でのチラシ配布に続き、皆さんが声
をかけて頂いて「会員の知人」が全体の二割
となりました。仕事の内容を直接作業してい
る会員さんから聞いてからの入会ですので、
スムーズな就業につながります。
今年度の新会員の目標は八十名です。皆さ
んの協力なくしては達成できません。引き続
きのご協力お願いします。

忘れられない思い出

「野菊の墓」映画化記念樹 アララギ

昭和四十八年四月、私は成東町役場産業課
に配属され農林水産係と商工観光係の担当に
なりました。

昭和五十六年七月、伊藤左千夫の野菊の墓
の映画化が決まり、そのキャンペーンでヒロ
インの松田聖子さんがこの成東に来ること
になり商工観光係がその対応をすることにな
りました。暴走族が来るかも？とのことから警
備を兼ねて前日から関係者で左千夫の生家に
泊まりました。七月の中旬なので冷たい飲物
も用意され、夕涼みだと洒落込みました。
翌日、成東駅から左千夫生家までパレード
を行うことになり、沿道は大勢の聖子ファン
でごった返してました。

キャンペーンが終つての帰り、和田の踏切
まで私は聖子ちゃんと一緒にロケバスに乗り
合わせました。聖子ちゃんは十九歳、この私
はまだ二十代。私の心は聖子ちゃんが民子で
自分は民子を慕う政夫になり切っていました。
今でも忘れられない思い出です。

短歌

業務係 土屋隆夫

同時テロ バリにておこる 恐ろしき
かつてのルーブル にぎやかなりき

会員 土屋敦保

俳句

鳥帰る やはり野に咲け 萱草
会員 戸村茂昭

山武市に遺っていた鎌倉道

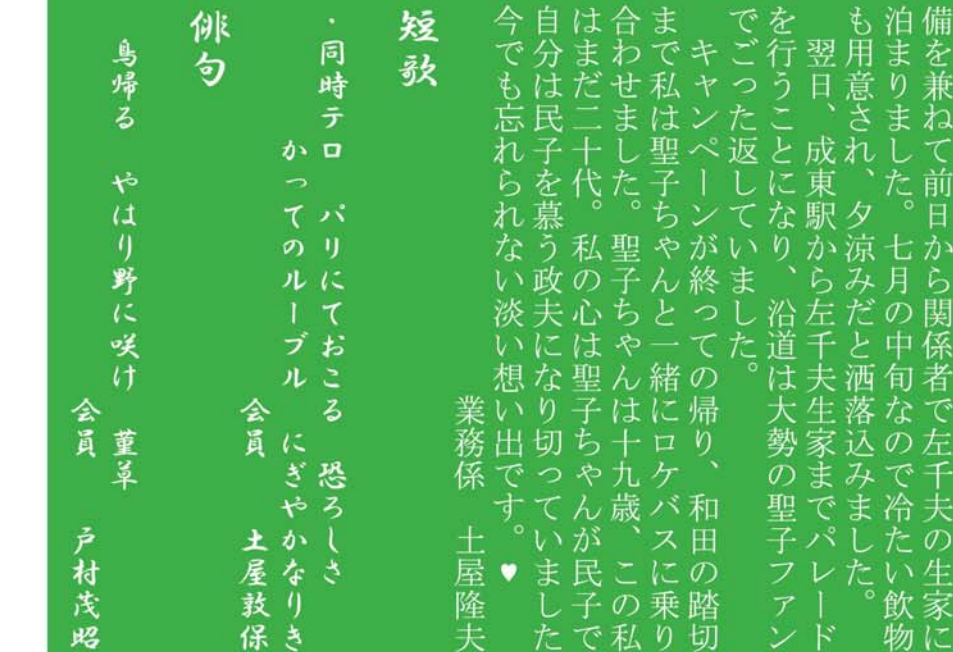
(広報編集委員 戸村)

「いざ鎌倉」という諺がある。坂東武者に
よる初めての政権となった鎌倉幕府の政庁が
あった鎌倉で政争や事件などが起こった際、
地方に居る坂東武者は幕府を守るため「いざ
鎌倉」と叫んで鎌倉に駆けつけたからだと
である。その為に整備された道は鎌倉道と呼
ばれている。勿論、それらの鎌倉道は既存の
古道を整備したものであろう。

その時に頼朝が訪れたとの言い伝えが残っ
ている。このことから見ても山武市に城を構え
ていた殆どの武士は千葉氏の一族であるから
「いざ鎌倉」の際に遅れをとらないよう鎌倉
道を整備していた筈である。筆者は山武町在
住の知人を介して九十九歳の古老から鎌倉道
の現状を教えて貰ったのが添付の画像である。
場所は山武市と東金市の境が複雑に交錯して
いる下布田・植草・森台・酒蔵・三ヶ尻・松
之郷のまたがる山間(やまあい)や山辺(や
まべり)の古道であった。又、不思議なこと
にこの古道には平将門に因って伝承されて



いる成東高校脇の「将門
堤」や将門の幼少の頃に
生誕地の御門と本掘地の
大佐倉とを母が行き来す
際この木之根坂の麓で
母が将門に乳を与えてい
たので乳飲坂と呼ばれる
ようになった場所もあつ
たから古道そのものだ。
場所によっては廃道と化
した所もあるが、一般的
に車が一台だけ通れる程
度の狭さで木の下闇の切
通やら柵田を見下ろせる
山辺の道などは遥かな昔
坂東武者が馬にまたがり
鎧兜を身に付けて元寇の
折には駆け抜けたのかと
想像すると何やら足と肌
で鎌倉武士の生き様が感
じられ鎌倉時代にタイム
スリップできるから不思議
である。



会員の広場

私の趣味、紹介シリーズ

当シルバーセンターにはいろいろな趣味をお持ちの方が多数おられます。今回の広報から、これらの方々の趣味の紹介を致しますので、ぜひ記事の投稿をお待ちしています。これらの輪が広がり会員同士で同好会、サークル活動が発足するきっかけになると良いですね。

第一回 「絵画（自称）写仏」

会員 樋口 勝利

写仏とは、仏画を写し取ることで、写経と同じで、お寺等で修行のひとつとして行われております。私の（自称）写仏とは、仏像の顔写真をパステル（画材）で描いたものです。そもそも、仏像の顔を描き始めたきっかけは、館山市の那古寺の仏像をパステルで描いた作品が、ある展覧会で入賞したことでした。上野の東京国立博物館で毎年のように有名な寺院の国宝級の仏像展が開催されております。私は毎回この仏像展に行き、古き仏像を、特に顔を見て、その荘厳さや、美しさに感動して、帰りに気に入った仏像の写真を購入（写真撮影禁止の為）し、それを見て描いてまいりました。

ここに掲載いたしましたのは、興福寺の国宝阿修羅像です。阿修羅像は本来、戦いの神様ですが、この像の少年相の愛らしさ、さすががしさに心を惹かれて描いたものです。私の画歴は古いのですが、一向に上達せず、ある先輩から、君の絵は図画のレベルだ、と言われておりますが、自分なりに楽しく、自己満足して描いております。最近は大のぬり絵がブームとなっておりませんが、六年前の野村重存氏のスケッチの下

絵を十五点持ち合わせておりますので、ご希望の方に差し上げます。絵を描くことのみならず、美術館めぐりをしたり楽しんでおりますので、ご一緒しませんか。



◆ 四月十四日に発生した、熊本県地方を震源とした地震で大きな被害が出ています。熊本県出身の当センター会員さんより投稿です：

「募金で応援」

後藤 玲子

震度七の益城町に住む知人、八重子さんより地震発生から二週間目に「生きとるよ」と元気の電話での声。八十七歳の彼女はその時、着の身着のまま家を飛び出し、近所の人を誘導で広場に行くと、たくさんの人々が集まってきたとの事。火の国熊本もまだ朝夕は冷え込みます。不安と寒さの中、ジャンパーを着せてくれた男の人がいたという。その方も寒かったろうに…。

今は「おそろしかったあ」と言う彼女は、少し離れた娘さんの家に避難し、時々片付けのために帰宅するが断水中で、飲み水は持参するがトイレは使用できない。そこで、長年介護の末他界されたご主人のための紙おむつがあることに気が付き「役に立ったとよー」と明るく語る声は生きるための知恵と力強さを感じた。

職群班班長の紹介

職群班は、会員の共働・共助を基本に連帯意識と親睦を基調として、職種ごとに班を編成しています。任期は一年です。

班長は事務局と連絡を密にし、班員と発注者と作業日を調整し、安全で誠実な就業を行います。各職群班長さんを紹介いたします。



同じ熊本県出身の秋吉さんと募金の呼びかけ

『肥後っ子の頑固さとねばり強さがある』とよ。頑張らにやー！』四月二十三日、設立十周年記念式典の折、その募金箱にはたくさんの方々の気持ちが入れられ、とても嬉しく涙をこらえるのがやっとの感動の一日でした。シルバー人材センターの窓口に職員さん手作りの募金箱を置いてありますので引き続き協力ねがいます。

Table with 4 columns: 地域 (Region), 地区 (District), 班長氏名 (Class Leader Name), and 班 (Class). It lists members for 成東, 蓮沼, 松尾, and 山武 regions.

Table with 3 columns: 職種 (Job Type), 班名 (Class Name), and 班長氏名 (Class Leader Name). It lists members for 植木, 草刈, and 軽作業 (Light Work) categories.

独自事業 『いきいきクラブ』

二十七年年度の活動は、二月のじゃがいも植えから始まり、落花生、さつま芋、大根を収穫し、事務局窓口や福祉まつり、産業まつりで販売しました。

作業に携わった会員さんは、四十一名となり、農作業初心者の津久井局長も一緒に作業に参加しました。山武地区の畑であったことから、当初は近くの会員さんしか集まらないのかな？と心配をしていましたが、他地区の会員さんも多く参加され、山武市の輪が一つとなって、だんだんと大きくなってきたんだなあと実感しました。

初年度でどのくらい耕作をしたら良いか、手探りで活動が進められましたが、植え付け、肥料ふりや草取りなどみんなで手をかけて育てた野菜を収穫した喜びは、かけがえのないものとなりました。

自分たちの野菜を販売するときには、説明にも力が入ります。じゃがいもは、土のかけ方が足りなかったのかメイクインは緑っぽくなってしまいました。ワセシロは形も大きく、きれいなじゃがいもでした。さつま芋は、ホクホクしていると好評で、毎週買いに来てくれるお客さんもいました。落花生は翌年の種用で一部残し、あとは農協で買い取って頂きました。また、長くて太く立派に育った大根

して出来上がった帽子は、自分用やプレゼントにと子供たちが購入をしてくれました。

○ポチ袋・祝い箸：和紙で姉様人形を折り、箸袋やポチ袋に糊付けします。顔の部分は爪楊枝で取り出せます。素敵な人形になるよう着物と帯の柄合わせに気を使いました。

二十七年度は、十周年記念式典の受章者へのコサージュや記念品の祝い箸を製作しました。他にも、ニット帽子や巾着袋など「こんなのがあったらいいな…」と思ったものを作っていました。これら製作したものは、事務局窓口やシルバー行事、福祉まつりや産業まつりなどで販売し、多くの会員さんや来場者の方にご購入頂きました。

二十八年度は、前年度の売れ筋商品販売す

は、産業まつりで大盛況。安いこともあって、アツという間に売り切れしました。



産業まつりでの大根・さつま芋の陳列

二十八年度は、昨年度を振り返り、本来の業務に支障がないよう、作付面積を縮小して実施します。二月に植えたじゃがいもの収穫



じゃがいも畑の草取り

る時期に合わせて、製作できるよう計画表を作成し、現在それを基に活動しています。

手芸に興味がある方、一緒に作業をしてみませんか？初心者大歓迎です。自分たちで作ったものを販売して、喜んで頂ける活動はとても楽しいですし、お友達作りの場としても活用して下さい。お待ちしております！

就業の様子

～ 藤ノ木園芸 ～

先日の当センターの設立十周年記念式典で発注者功労者で表彰されました、藤ノ木園芸さんの就業の様子を紹介いたします。山武町

が楽しみです。

いきいきクラブでの作業は、健康維持や皆で知恵を出しあって野菜を育てることで仲間意識が芽生え、人と協力して作業をすることの楽しさを味わうことができます。広い畑でリフレッシュもできますので、興味のある方一緒に作業しましょう。

独自事業 『すみれサークル』

二十七年度は一年間を通して、月二回（第二第四月曜日）午前中、山武福祉センターにて活動を行いました。毎回十名前後女性会員が集まり、おしゃべりをしながらの作業は参加者の楽しみの活動となっています。主に製作した品物の紹介です。

○ガーゼ帽子：きれいな模様のガーゼ手ぬぐいで作る帽子は、手縫いならではの優しい仕上がりです。清掃や調理をする際にサツとかぶれ、綿百％で洗濯機で洗えます。

○手さし：草取りや農作業で使用する手さしを会員さんのニーズに合わせて様々な長さで作りました。

○クラフトテープ帽子：クラフトバンドで飾り用の帽子を作りました。細かな作業で慣れるまでに時間がかかりましたが、いろいろな色で作って、リボンをかけて造花で飾りつけを

シルバー人材センター時代からご依頼いただいている、お付き合いの長い会社です。



野菜苗の植え付け作業

藤ノ木園芸さんは、野菜苗の栽培を行っており、就業内容は、男性がポットに土を入れ、女性はポットに野菜苗の植え付けをする作業です。就業している会員さんは、自分たちが作業した物が売り物となるので、気を配りながらの作業を心がけているそうです。藤ノ木さんご家族は会員の皆さんにとっても良く接してくれます。

お店で買った野菜苗が、もしかしたら同じシルバーの会員さんが携わった苗であったら...と考えるとうれいすね。



ポットを並べ土入れ作業



産業まつりでの販売品陳列